

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	13_東京都
市区町村名	
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組これまでの取組状況	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
13303瑞穂町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	全国学力・学習状況調査において、平日における家庭学習に全く取り組まない児童・生徒の割合が全国平均より高い。	・全国学力調査結果の広報 ・家庭啓発資料の配布 ・全校放課後学習実施	・全国学力・学習状況調査の結果を広報誌及びホームページに掲載する。 ・学習習慣の定着に関する家庭啓発資料を配布する。 ・本事業を活用し、全校で放課後学習を地域協力者を募り実施する。	学校・家庭・地域・教育委員会の取組を明確にすることにより、それぞれの取組を明確にするとともに、協働を図ることができる。	平日における、家庭学習に取り組む児童・生徒の割合	92	%	94	92	01 本年度の目標達成を大きく下回り、取組の進捗的な成果が見られなかった。 令和7年度の全国学力・学習状況調査における家庭学習に関する調査結果では、小学生は「全く勉強しない」児童の割合はほぼ横ばいで、中学生は3.3%改善した。放課後学習への参加者の割合は昨年度と同等であるため、実績は横ばいの状態にある。	http://www.town.mizuho.tokyo.jp/kyoikuinkai/education/index.html
13303瑞穂町	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	部活動を担当する教員が多くいるが、勤務時間外までの指導が現状続いている。また、指導に関して専門性をもっている教員が少ない。	・部活動指導補助員募集 ・部活動指導補助員による教員の負担軽減	・部活動指導補助員の予算枠を確保し、教員が部活動の指導においての負担を軽減を図る。 ・部活動指導補助員を確保するために、町体育協会との連携を図る。	部活動指導補助員の設置割合を高めることにより、教員の働き方改革に生かすことができる。	平日における部活動指導補助員の導入割合	20	%	40	27	01 本年度の目標達成を大きく下回り、取組の進捗的な成果が見られなかった。 町の社会教育課に登録する団体のうち、中学生を受け入れられる団体には、部活動の代替となる取組が無く指導者の派遣も実現しなかった。近隣の大学に学生指導者を募集したが、応募はなかった。令和8年度は、中学校の部活動対策の大幅な方針転換を行う。	予定 http://www.town.mizuho.tokyo.jp/kyoikuinkai/education/index.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。